

# 「婚活」サイトで支援

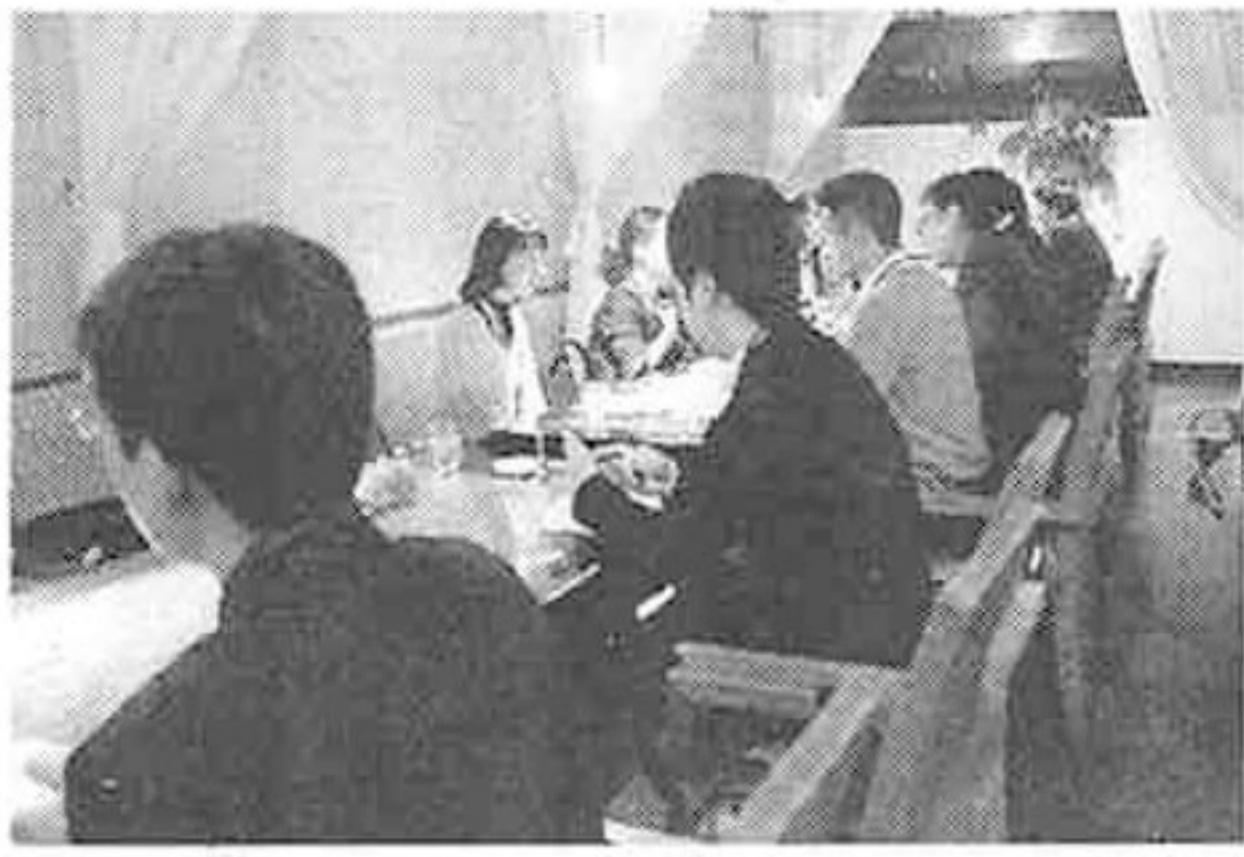
## 「さぬき協議会」登録無料

地域に根ざした「婚活」を支援します。県内の企業や団体でつくる「さぬき婚活支援協議会」が、県内在住者や県出身者を対象とした婚活サイト「婚ナビかがわ」を昨年11月から立ち上げている。無料で登録でき、婚活イベント情報などのメールマガジンを受けたり、イベントに自由に参加できたりするという。

(野田枝里子)

同協議会は、地域全体で子育てなどに充実した取り組みをしている団体を認定する2009年度の「次世代育成支援提案型協働事業」に採択されており、今後、年代別や「再婚限定」などカテゴリー別の婚活イベントを企画していく予定という。

婚活サイトに登録すれば、週1回程度、男女の出会いの場を提供する情報のメールマガジンを受けられることができるという。サイトでは婚活について書いたコラムなどを掲載し、結婚に至れば結婚式場やレストランなどを割引で利用



できる特典もある。同協議会の脇光雄理事長は「『婚活世代』と呼ばれる人たちは仕事に忙しくて出会いが少ない。地域に根ざした婚活支援をして、地元に戻って香川を元気にしてほしい。地元企業や飲食店と協力し、たくさんの方が利用してほしい」と話す。



高松市内の飲食店で昨年12月中旬に開かれた同協議会の「婚活パーティー」をのぞいた。

午後5時半に始まり、集まった男女各9人が名札を付けて向かい合うように座る。

この日は20〜30代限定だ。まず6分間の「自己アピールタイム」。対面した男女同士で6分ずつ自由に話し、時間がくれば次々と席を隣へ移していくルール。主に男性がリードし、女性はメモをとった

「自己アピールタイム」。徐々に緊張が解けていったようだった

「婚ナビかがわ」のホームページ



り相づちをうったりした。その後「食事タイム」へ。参加者たちは1時間ほど自由に食事やお酒を楽しんでいた。この場でメールや電話番号

などを交換するのは禁じられており、「また会いたい」と思った相手がいれば紙に名前を書いて残す。相手も自分の名前を残していれば、同協議会が再び会う段取りを設けてくれる。このパーティーでは複数の名前を書いた人もいて、7組が再会の運びとなったという。

会社員の男性(35)は「仕事に忙しくてなかなか女性との出会いがない。実際に会わないと相性はわからないから、こういう機会はないがたい」。会社員の女性(33)も「お見合いパーティーは堅苦しいイメージだったけど、みんな普通の人ばかりで、盛り上がり楽しかった。県の関連事業と書いて安心だった」と話して

いた。